

生まれた町、育った町、
これからも暮らす町。

この町にどんな人が
住んでいたのか。

この町でどんなことが
あったのか。

そんな身近なことが
大切に思えてきた。

みんなの記憶をたずねて、

じぶんの町が
おもしろい。

集めて、つないでいく。

そうすると、

杣江のものがたりが

できあがる。

世界でたったひとつの

ものがたり。それが「地元学」。

住んでることが

もっと楽しくなる。町との新しい

つきあいはじまる。

杣江を知っていますか。

与兵衛沼 二の森 安養寺

■説明／堤改修の記念碑です。

「改修記念の碑(左)」

■碑文

昭和四年二月十五日夜半与兵衛沼の堤防が突如決壊し、地域住民は多大なる被害をう



水神の碑と改修記念の碑

けた。当時幾多の困難を克服し、堤防の改修に協力し危険を防止した。その後仙台市において本格的な復旧工事を行い昭和五十四年三月三十日大改修工事の完成を記念し本碑を建立する。

木皿平吉 高橋長太郎 高橋甚作

木皿謙 木皿善助 高橋巳津夫

鈴木誠三 渡辺吉雄 鈴木長吉

木皿栄蔵 浅野吉松 菅原留吉

高橋一雄 昭和五十六年十月吉日

発起人 木皿栄蔵

■説明／堤の決壊により水害を受け、村人こぞって補修した。その後、市の協力で現在のように改修した記念の碑で、一生忘れることなく、後の人にも伝えようと建てたものです。

このように町ぐるみ村ぐるみで農を守り、その作業を容易にするため、村の繁栄を祈りながら、身体をはって作業に専念し、大事業をやり遂げたことを示す碑です。

これらの碑文を通し、沼に汗とまみれた村民の姿が目に見え、苦勞の様子に迫ってくるようです。

(高野鉄蔵さんの話)

スケート場だった 与兵衛沼

●昔、沼の水は青く澄んでいて、原町小学校の水泳場として利用されたり、ボート遊びなどにぎわった。冬期には、スケート場として親しまれたこともある。また、沼の周囲の赤松林は、藩主が松茸狩りをした所で、今でもきのこの山と呼ばれている。

(木皿平吉さんの話)



人々に親しまれた与兵衛沼

二の森を歩く

【軍の施設(戦時中)】①

枳江から幸町にかけての広い面積が陸軍の用地として使用され、造兵廠、弾薬庫などが造られた。その時付設された貯水槽、水道施設は、後に水に窮した町内会の活用請願の対象となったが認められず、「幻の簡易水道」と言われた。

また、造兵廠の跡地46,2ヘクタールは、戦後、宮城県が大蔵省より払下げを受け、当時としては全国にも誇れる農業試験場を昭和28年に完成した。他に海外引き揚げ者寮や青葉病院となった所などもその一部である。

【宮城県立農業試験場】②

今は、宮城県総合衛生学院や保健環境センターなどになっているところ。

陸軍造兵廠の跡地46,2ヘクタールに、昭



宮城県農業試験場・試験苗の稲刈り(昭和29年秋)

玉田横野

とりつなげ 玉田横野のはなれ駒

つつしが岡に あせみ花さく

(源 俊頼)

「玉田横野に草もえて、駒いななきしゆかりの地」と、小松島小学校の校歌にも歌われているとおり、昔、伊達藩時代には仙台城の北東部に位置して荒蕪たる原野が広がり、馬の放牧地であったと伝えられている。ここに、玉田横野の地名が出ているが、この玉田は仙台の東北の郊外、すなわち、小田原村の林の丘陵地の旧名地で、横野とはその東に続く野のことである。このように、二の森地区は古来、多くの歌に詠まれた地である。

北には東照宮の森、ほたるの里、伊達家の墓、庚申塔などの石碑がある。与兵衛沼では、冬はアイスホッケー、

安養寺二丁目を歩く

【団地の造成】

昭和43年頃から団地造成が始まり「森と湖のある団地」をキャッチフレーズに第2自由ヶ丘が、ひと坪8千円〜2万円で売られ、出された。

同45年第3自由ヶ丘が造成。ひと坪1万8千円〜3万5千円で販売された。

【350万円で家を建てた】

私は坪1万8千円で買って、350万円で家を建てました。最初の契約では250万円だったのに団地の設備が不十分という事で延びてしまって、再契約、再々契約と、結局一年間延びたんですね。それで100万円値が上がったんですね。この差額は大きかったですよ。

(神崎栄蔵さんの話)

【オイルショックで 資材が上がった】

私は丁度オイルショックの時に大工さんに頼んだのですが、最初の予算より資材等の値が上がってしまって。大工さんも、いくらかかるか判らないというし、途方にくれましてね。予算より大分かかりましたよ。大変でした。(菅原藤子さんの話)

【泉ヶ岳が目の前に】

当時の団地は今では想像もつきませんが、ガランとしていて、泉ヶ岳が目に見え、電柱が十本立っているだけでした。バスの乗り入れもなく、通勤、通学、買い物も団地から二の森まで砂利道を歩いて往復しました。与兵衛沿の坂道には、とても苦労しました。

なぜ安養寺を選んだのでしょうか

ここに安養寺を選んで住居をかまえたのか、その理由を聞いてみた。



いまもタヌキの親子が出没する